

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年3月27日

【評価実施概要】

事業所番号	2775501824
法人名	社会福祉法人 寿昌会
事業所名	ケアホーム山本苑
所在地	大阪府八尾市長池町3-21-7 (電話) 072-996-5681

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年3月8日

【情報提供票より】(平成20年2月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年1月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	5人
職員数	10人	常勤	4人, 非常勤 6人, 常勤換 4.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨一部木造 造り		
	3階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	30,000円	
敷金	有()円 ③			
保証金の有無 (入居一時金含む)	④(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	④ / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要 (平成20年2月5日現在)

利用者人数	5名	男性	0名	女性	5名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	0名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.6歳	最低	77歳	最高	101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高砂クリニック、貴島病院本院、前田歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

併設の軽費老人ホームでの生活が困難になった方々のために、継続して安心した生活が送れるよう、低額で利用のできる施設を作りたいという理事長の思いで設立されたグループホームです。定数5人という小人数制を生かし「手作り介護」の方針で、型にはまらない介護を大切にしています。管理者・職員が相互に認め合い、敬意を持ちながら取り組んでいることが、利用者同士が認め尊重し合う関係を作り上げ、職員が利用者の表情に誇りを感じるケアにつながっています。「家庭的な暮らし」が、ここでは自然で当たり前ものになっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価項目で示された介護計画については、より利用者の思いが反映される介護計画に整備されており、さらに事務室を利用者がくつろげる場所に改装するなど、改善が行われていました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については、職員間で共有して取り組みました。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の規定を作成し、利用者・市の担当職員・民生委員・職員で会議をしています。地域とのかかわり、グループホームの質の向上に向けて検討されています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族会があり、家族交流会が開催されています。家族への聞き取り用紙を準備して、訪問記録簿が作成され、家族が意見を表出できる工夫をしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人の長い歴史によって、周辺地域との協力関係が構築されています。幼稚園児から高校生までホームへの訪問があり、世代間の交流もあります。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根ざし地域住民の中に溶け込みその人に合った生活が送れるように、グループホームの資源だけでなく、社会資源も活用しながら、支援していくことを心がけています。「手作り介護」の理念で、家庭的な雰囲気大切にしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「手作り介護」の理念を、玄関前やフロアに掲げ、管理者以下職員がマニュアルを超えて、型にはまらない介護に徹しています。管理者、利用者、職員全員が大きな家族のような雰囲気になって、利用者も表情豊かに暮らしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	法人の長い歴史によって、周辺地域との協力関係が構築されています。幼稚園児から高校生までの訪問があり、風通しのよい関係を築いています。近所の方が、犬の散歩の途中でホームに立ち寄ってくれることなど、周辺地域に溶け込んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と職員はサービス評価の意義を理解し、共有しています。また前回の評価結果をまとめ、職員会議で確認し、示された事項について改善しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定があります。メンバーには、利用者や市の担当者、民生委員で構成しています。会議では地域との関わりやサービス向上等について、話し合いを行っています。今後も引き続き、利用者家族がメンバーに入られるよう努めることが望まれます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者は決まっており、いつでも相談できます。市の会議には、積極的に参加しています。事故報告は今まで報告する事故が起きていないため行っていませんが、あれば迅速に報告する体制は整っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、会計報告を行う際に、利用者の様子も合わせて家族へ報告しています。また「ケアホーム山本苑だより」も3ヶ月に1回発行し、家族へ送付しています。利用者一人ひとりのアルバムを作成し、面会時には家族にも見てもらっています。金銭出納帳には家族の確認署名があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会があり、家族交流会も開催しています。家族への聞き取り用紙を準備して、訪問記録簿を作成し、家族が意見を表出できるよう工夫をしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職はほとんどありません。利用者と職員が、大きな家族という雰囲気になっており、職員は利用者から孫のように可愛がられています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画が立てられ、充実した研修内容になっています。「緊急時対応」「認知症」「感染症」を含む研修を開催し、外部研修にも積極的に参加し、研修後には研修報告書を作成、回覧もしています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に入会しています。また、八尾市グループホーム施設部会での、見学会や勉強会にも参加し、他の事業所とも交流を図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	現在のところ、併設の軽費老人ホームから受け入れを行った利用者だけですが、今後地域からの利用申込みがあった場合は、体験利用や訪問面接を行う予定です。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は家族の一員として、調理の手伝い、犬の餌やり、掃除等、それぞれに役割があります。職員は利用者に敬意をもって支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の話や利用者の日々の生活状況から、利用者一人ひとりの思いや暮らし方への希望を聞き取っています。また、毎月の職員会議には、職員がそれぞれ利用者に関するレポートを提出し、気づきの共有を図り、より深く理解することへと繋いでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の要望を聞き、カンファレンスで意見を出し合い、本人の思いや安心して暮らしてもらえるように介護計画に反映しています。家族への説明、同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	評価は毎月行っています。介護計画の進行状況の見直しは、基本は6ヵ月ごとですが、利用者の状態変化や家族・利用者の要望に応じてその都度見直ししています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が以前働いていた病院にリハビリに行くことができ、本人の表情が明るくなり、そのことで家族関係もよくなったというケースがありました。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の軽費老人ホームからの利用ということで、嘱託医がかかりつけ医となっています。利用者及び家族の希望により、かかりつけ医への受診支援体制もあります。夜間、緊急時の体制も整っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「グループホームでできるところまで看たい」という方針で、家族にも説明し、理解を得ています。職員の思いと技術で「できるところまで」を少しでものばしたいと考えています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に対する職員同士の会話など、プライバシーに対する配慮は行っています。利用者の個人情報に関する記録類は、鍵のかかるところに保管しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活に合わせてゆったりとした暮らしが支援されています。職員は利用者のペースを尊重する配慮が行き渡り、利用者同士もお互いのペースを認め合う暮らしが自然にできています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛りつけやおやつ作り等を利用者と一緒に行っています。ご飯を美味しく食べていただきたいという理事長の考えで、米にはこだわっています。食事は職員も一緒に摂り、和やかで、大きな家族の食事風景になっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を聞きながら、併設施設の温泉気分が味わえる大浴場を利用しています。体調の都合で入浴できない利用者のために、身体全体にシャワーが掛かる装置を設置しています。足浴支援も行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、利用者一人ひとりの楽しみを認識しており、散歩や犬の餌やり、調理の手伝い、歌の指導など、それぞれの役割があります。月1回は外食会やおやつを買出しをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の良い日を選んで散歩をしています。また、併設のデイサービスに出かけ、そこに来ている人たちとの交流があります。利用者は、ホームの近くにある玉串川沿いの桜を見に行くことを楽しみにしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵は開錠しています。利用者が心理的な圧迫を感じるような行動制限は見られませんでした。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルを作成し、避難訓練も実施されています。非常口は普段鍵がかかっていますが、緊急時にはすぐに開けられるようになっています。非常用食品は、併設の施設に備蓄されていますが、グループホーム独自には備蓄されていません。	○	今後の災害発生時を想定して、非常用食品の備蓄や備品のリストを作成し、定期的な点検が求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は記録に残しています。献立は併設の軽費老人ホームの栄養士がたてていますが、栄養バランスは職員も関心をもっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	理事長の自宅を改装されたグループホームで、家庭のぬくもりが感じられ、玄関や居間、台所などに家庭の雰囲気があります。1階は広めの応接室になっており、近所の人も訪れる場所になっています。この項目は前回の外部評価で示された事項でしたが、事務室にソファを置き、利用者がくつろげる場所に改装されていました。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の家具の持ち込みは自由で、慣れ親しんだタンスや仏壇を持ち込まれている利用者もありました。個性を大切に、利用者一人ひとりに合わせる配慮がなされています。		